

# 新時代を切り拓く力を地域社会との共創から育む — 学びで世界を変える— 新しい教育への挑戦 —

京都橘大学は、文系・理系・医療系の分野で9学部15学科を擁する総合大学です。「自立・共生・臨床の知」を教学理念とし、自ら考え行動する力、他者を理解し協働する力、そして大学での学びを社会に還元できる力を備えた人材の育成に尽力しています。2026年4月には、

## 文理横断教育による「総合知」の涵養

一拠点総合大学という特長を活かし、1回生から学部横断的な学びを展開しています。たとえば、企業や行政が抱える課題に対し、複数学部の学生が混ざったチームで議論し、解決策を提案する授業があります。実社会の課題を多角的な視点で考える経験は、思考の幅を広げる貴重な機会となっています。

2025年度からは、全学的



岡田 知弘 学長

おかだ・ともひろ／京都大学経済学部卒業後、同大学院経済学研究科博士後期課程修了。同大学経済学部、大学院経済学研究科教授。2019年京都橘大学教授に就任し、地域連携センター長を歴任。2025年4月1日学長就任。

な議論を経て刷新された共通教育がスタートしました。教学理念を基盤にした「たちばな Basic II」は、全学部混合のクラス編成による対面とオンライン型の授業で行います。さらに、西日本屈指の規模を誇る医療系分野では、多職種連携教育を実施しています。この授業では、全ての医療系学科が連携し、チーム医療の要となる専門職間の協働を実践的に学びます。患者さんに最適なケアを提供するための知識とスキルを身に付け、医療人としての成長とキャリア形成につながることを目的としています。

このように、本学では、自分と異なる考え方に触れながら、新時代を生き抜くための「総合知」を育む教育に重点をおいています。キャンパス内には、学生の知的好奇心を刺激する機会が溢れ、ユニークなプロジェクトも次々と生まれています。

## 地域と共に創る 学びと実践のフィールド

地域や企業との連携にも注力しています。京都は学生の街として知られ、世界で活躍する先進的な企業も多く存在します。学生たちは、それぞれの専門性を活かして、調査・研究・実装プロジェクト、イベントの企画・運営などに地域の方と共に取り組んでいます。

2027年に、開学60周年を迎える本学は、大学、企業、地域社会がそれぞれの強みを活かしながら、誰もが豊かに生きる「共創社会」の実現を目指しています。

大学は未来を創る場です。地域とのつながりを大切に育みながら、学生一人ひとりの成長を支え、変化する社会に因應する新しい学びを深化・展開していくことが、私たちの使命だと感じています。



2026年春「ACADEMIC TERRACE」誕生！リアルとデジタルの世界をつなぎ、知と創造が交差する、オープンイノベーション拠点。共創による新しい学びが始まります。

